

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 27 No 3

307号

平成31年 3月 4日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

遙かなる甲子園

院長

テーマを見て、皆さんは院長が高校野球のファンと
思われたでしょう。もちろん高校野球は好きですが、
これは舞台のテーマなのです。2月24日に風疹をなく
そうの会「hand in hand」主催の舞台「遙かなる甲子園」
(関西芸術座)を東京まで観劇に行ってきました。

「遙かなる甲子園」の名前を聞いたことがあるかもし
れませんが、少し説明を加えておきます。原作は戸部
良也氏の『青春の記録 遙かなる甲子園 聴こえぬ球音に
賭けた16人』(1987年発行)です。観劇するきっかけ
となったのは、風疹をなくそうの会とのお付き合いで
す。この会は妊娠中に風疹に罹った母親と先天性風疹
症候群当事者のグループで、風疹流行阻止のための情
報発信、流行によって影響を受ける女性、こども、家
族のサポートをするために設立されました。地道な啓
発活動はもちろんですが、国への積極的な訴えが実っ
て、後述する成人男子の抗体検査・風疹定期予防接種
への道筋が開かれました。私自身としては2015年会
長を勤めた日本外来小児科学会年次集会以来、さらに
深いお付き合いを続けています。風疹をなくす活動に
共感してCLINIC NEWSや育児情報誌で風疹の問題を
発信続けてきただけでなく、昨年11月に東日本放送、
12月にはミヤギテレビを脅して(笑)、「全国的に風疹
が流行し、先日感染者が2000人を超えました。風疹は
比較的軽い病気ですが、先天性風疹症候群という大き
な問題があります。風疹の感染者の多くは成人男性で、
対策は必要です。流行してからでは遅く、流行してい
ない宮城だからこそ注意喚起とともにワクチン接種が
必要なのです。」と注意喚起をテレビ放映してもらい
ました。提案に乗ってくれたことに感謝です。

昨年10月に風疹をなくそうの会から、「～知ろう風
疹!! 舞台「遙かなる甲子園」から学ぶ～」開催のクラ
ウドファンディングの案内が届きました。クラウドフ
ァンディングとは新しい造語で、通常インターネット
を使って、ある目的を持った人々や組織に対して財源
や協力などを行うことを指す言葉です。舞台を実現す
るために資金協力を仰ぐというもので、何の迷いもな
く協力することにしました。

さてと随分と寄り道しましたが、話を「遙かなる甲
子園」に戻しましょう。本土復帰前の1964年風疹の大
流行がありました。この流行は米国に端を発するもの
で軍用地を持つ沖縄に持ち込まれ、多くの妊婦さんが
感染し400人もの先天性風疹症候群の児が生まれました。
先天性風疹症候群には様々な症状が合併しますが、
主なものは心疾患、聴覚障害、視覚障害、知的障害な
どです。その時期に生まれた聴覚障害児たちのために

1978年から6年間限定で設立された『北城ろう学校(中
等部・高等部)』が舞台です。詳細はぜひ原作を読ん
で確かめてください。中学時代から野球をしていた主
人公の一樹君は、甲子園出場の夢を抱いて高等部に野
球部を作ろうと活動を始めました。様々な仲間たちが
入部のために集まってきましたが、最初は顧問も校長
も認めようとはしませんでした。しかしながら部員た
ちや保護者の熱意に後押しされ、学校側の理解のもと
野球部が設立されました。聴覚障害がある生徒たち
には野球というスポーツが困難であるにも関わらず、情
熱と練習で徐々に力をつけていきました。同じ障害を
持つ同級生から妨害を受けたりと多難でしたが、なん
とか試合のできるレベルになりました。ところが日本
高等学校野球連盟(高野連)から、ろう学校との理由
で登録ができないとの通知がありました。登録ができ
ないと公式試合はおろか、練習試合もできないとい
うに大きな壁に阻まれてしまいました。そんな中、作文
コンクールで入賞した聴覚障害を持つ野球部マネー
ジャーが、受賞者としてのスピーチを捨てて、野球部を
高野連へ登録できるようにと会場に向けて叫ぶように
訴えたのでした。それをきっかけに大きな話題となり、
高野連登録の判断のため試験試合を行うことになりま
した。紙面では語りつくせませんが、障害と向きあい、
情熱を持って自分たちの道を進もうとする主人公と、
それを助ける仲間たち、さらには保護者や学校がひと
つのことを成し遂げた実話です。キーワードは、「努力」
と「信じる」。手話では、努力は壁に穴を開ける、信
じるは心をつにすることで、まさにこの想いが溢れて
いました。とても感動的な舞台で、後半はハンカチが
離せず、最後の「私は、自分のせいで娘を先天性風
疹症候群にしてしまいました。だけど、お腹の中にある
命をなくすことはできませんでした。どんな障害が出
るかわからないからといって、おろしなさいと言われ
ましたが、ここにいる娘は今こうして元気に歩いてい
ます」の挨拶では、涙を止めることはできませんでした。
(写真は2面:集合写真でも代表の隣に写ってます!!)

さて、私たちは何をなすべきなのでしょう。先
天性風疹症候群を理解するために、
CLINIC NEWS「また迫り来る風しん
の脅威」(平成30年10月号)を是非
読んでください(QRコード)。記事
では成人男性が感染源となり、そこ
から感染が広がることを伝えまし
た。この予防のために、新しい取
り組みが始まります。それは緊急
風しん抗体検査事業と第5期風し
ん定期予防接種で、昭和37年4
月2日から昭和54年4月1日ま
で出生の成人男性が対象です。
抗体検査で免疫が不十分な場合
には、風しんワクチンを定期予
防接種として行うもので、検査、
予防接種とも無料でうけること
ができます。少しでも早く開始
すべきと申し入れた結果、仙台
市では要望を受け入れ3月15
日から実施されることになりました。

先天性風疹症候群はワクチンで
予防できる病気です。皆さんの
周りの対象者には、是非とも
検査を勧めてください。そし
て、家族や社会を守るという
意識を持ち、成人男性が先頭
に立ってワクチンを接種しま
しょう。



3月のお知らせ

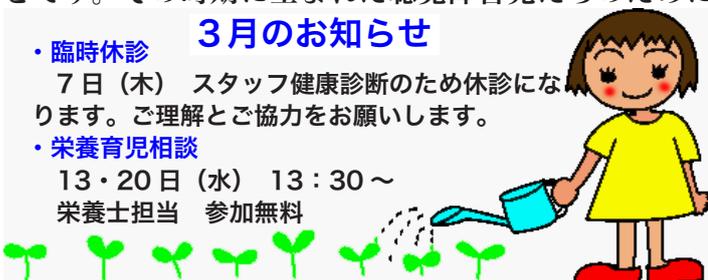
・臨時休診

7日(木) スタッフ健康診断のため休診にな
ります。ご理解とご協力をお願いします。

・栄養育児相談

13・20日(水) 13:30～

栄養士担当 参加無料



『子ども・子育て支援の都市仙台! ネウボラを仙台に!!』

読者の広場

先月は7通のメールをいただきました。

まずは宮城野区の鈴〇さん、珍しく父親からのメールです。「川村先生、いつもお世話になっております。2/12にインフルエンザの診断を受けた鈴〇晴〇の父です。今回イナビルと言うお薬を初めて処方され、インフルエンザだけではなくイナビルの説明書に書いてあった異常行動の心配もしていたのですが無事何事もなく、明日から登校できそうです。ありがとうございました。息子の大きな寝言をイナビルの副作用ではないかと心配した嫁さんがクリニックに相談電話をかけた際にも「大丈夫ですよ」と看護師さんの方からの心強い返事で安心できました。いつも頼りにしております。まだしばらくは息子の件でお世話になると思います。どうかよろしくお願ひいたします。」



病気の時には不安・心配が膨らむものです。どんなことでも遠慮なく相談してください。なんか、お父さんからもらえると余計に嬉しくなります。ありがとう。

次は泉区の石〇さんから。「かわむら先生、いつもお世話になっております。石〇右〇の母です。今日も診て頂きありがとうございました。今日お話しした背骨の件、少し前から一度相談したいとは思っていたのですが、待ちの患者さんが少なかった今日がチャンス！と急に思い立ってしまい、記憶を整理しないまま相談してしまったので親子でなんだか話が噛み合わず申し訳ありませんでした…。あのあとよくよく記憶を整理したら腰をぶつけた時（11月）と首を寝違えた時（12月）の2回整形外科でレントゲンを撮ってもらい2回とも背骨の曲がりを指摘され 気になることがあれば春休みに再受診、もしくは学校の検診でひっかかるようならまた受診するよという話だったのでの思い出ししました。痛みもないし気になったらまた受診して後はその時に～という感じだったので「そついうものなのか…」と思いつつ、背骨って重要そうなのでなんとなく気になっていました。服を脱いだ状態でしっかり診て頂き、分かりやすく丁寧に説明してくださったので安心しました。相談して良かったです。ありがとうございました（*´`*）またなにがございましたらよろしくお願ひいたします。」

待ちの患者さんが少ないことがチャンス、というよりいつでも聞きたいことは聞いて帰りましょう。母親という生き物は不安になると、その不安を無意識のうちに大きくしてしまいます。クリニックの理念は「お母さんの不安・心配の解消」ですよ。ですから安心を持ち帰ってもらうことも、クリニックとしての大事な役割です。

最後は大和町の櫻〇さんからのメールです。初の海外旅行に行く前受診した後、無事出発との報告メールです。「こんばんは。お世話様です。大和町 櫻〇〇母です。今日 夕方 無事 仙台を出発しました。熱も 落ち着き（咳、鼻水はまだ 少し…）本人も いつもの 調子になり 安心したようです。あとは 無事 帰宅出来れば…（初 海外で 私も 不安です）まだまだ 親子共々 お世話になります。よろしくお願ひします。」

必ずしも必要ではないメールを送ってくれる気持ちが、とても嬉しいことです。ほんと、今回も嬉しいメールばかりでした。ありがとうございました。

「遥かなる甲子園」 & 風疹をなくそうの会「hand in hand」 (<https://stopfuushin.jimdo.com>)



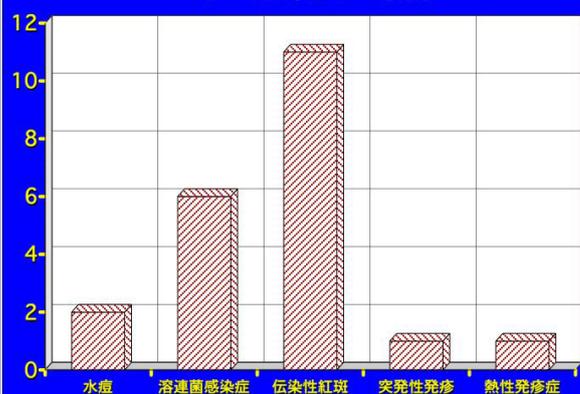
緊急風しん抗体検査事業・第5期風しん定期予防接種（2019年3月15日開始）

対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性（概ね39～57才）

風しん抗体価陰性を証明できる方。他の方は抗体検査により風しん抗体が不十分な方が定期予防接種の対象となります。抗体検査・予防接種費用は無料で、成人であっても当院で実施可能です。（平成34年3月末日まで）

パートナーだけでなく、周りにいる男性を誘って、社会を守るために検査と予防接種を受けてもらいましょう！！

2月の感染症の集計



今シーズンのインフルエンザは大きな流行になりました。1月は243人でしたが、2月は132人とほぼ半減しています。仙台市ではまだ警報継続中ですが、収束の方向です。これまでの流行はA型でしたが、今後B型の流行に注意が必要です。

例年インフルエンザが流行すると、他の感染症が目立たなくなります。まだ伝染性紅斑と溶連菌感染症が多いですが、他に目立った感染症はありません。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は600人を越えるお母さんが登録し利用しています。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下のQRコードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBをどうぞ。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomo-clinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

編集後記

風しんを取り上げましたが、麻しんの流行も気になります。先日院長の要望に応じて、KHBで麻しんを取り上げました。ワクチンで守れる病気があるのに、防げないことは悲しいことです。まして先天性風疹症候群はゼロにしなければなりません。「遥かなる甲子園」で感涙に咽んだだけでなく、さらなる啓発の必要性を感じて記事にしました。抗体検査と予防接種は3年間限定です。すぐにでも、抗体検査を勧めてください。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！